

科目名	計画学基礎 Infrastructure Planning			担当教員	今岡 芳子・宮崎 耕輔		
学年	4年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	専門	授業形式	講義	科目番号	16134021	単位区分	履修単位
学習目標	この科目では、都市計画や地域計画の計画立案作業を実践する上で、必要となる基本的な知識や技術を学習する。国土・地域・都市の各計画の歴史と現状を理解し、今後の土地利用・交通・市街地整備・防災などの計画について理解していく。						
進め方	板書およびスライド中心に講義を行うが、適宜、プリントの配布やコンピュータを利用し理解を深める。またレポートをはじめとする演習課題によって知識の定着を図る。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 都市・地域計画に関する基本的事項(13) (1) 国土計画・都市計画の定義 (2) 国土・都市の歴史 (3) 近代都市計画の思想 (4) 地域・都市計画の手続き（策定） ----- [前期中間試験] (2)			・ 国土と地域の定義を理解している。 ・ 諸外国の近代都市計画の思想や特徴などについて理解している。 ・ 都市計画や地域計画の基本的な策定方法を理解している。 (B-2)			
	2. 日本の都市計画の関連法規(7) 3. 土地利用計画(8) (1) 土地利用計画の概要 (2) 都市計画区域の区域区分と用途地域 ----- 前期末試験			・ 都市計画法における地区区域・地区計画および都市施設・開発などについて説明できる。 ・ 土地利用計画について理解している。 ・ 都市計画区域の区域区分と用途地域について理解している。 ・ 同心円モデルから多核心モデルについて理解している。 (B-2)			
	4. 都市施設の計画と整備(7) (1) 都市交通施設 (2) 公園・緑地 (3) 供給処理施設 5. 市街地整備の計画と事業(6) (1) 新市街地・既成市街地の整備計画 (2) 土地区画整理事業 (3) 市街地再開発事業 ----- [後期中間試験] (2)			・ 都市施設の種類について理解している。 ・ 地域・都市交通計画の基本概念について理解している。 ・ 公園緑地の種類と役割について理解している。 ・ 土地区画整理事業について理解している。 ・ 市街地開発・再開発事業について理解している。 (B-2)			
	6. 防災・環境に関する計画と事業 (1) 都市防災 (2) 都市環境 7. 国土・地域・諸外国の計画 (1) 国土計画 (2) 大都市圏・地方圏計画 (3) 諸外国の都市計画・国土計画 ----- 後期末試験 試験返却(1)			・ 国土形成計画について、その変遷と系譜について理解している。 ・ 諸外国の地域計画の特徴などについて理解している。 (B-2)			
	評価方法						
	4回の定期試験を80%、演習や課題への取り組みとその内容を20%で評価する。 学習項目ごとの全体評価への重みは、学習項目1, 2~3, 4~5, 6~7のそれぞれを、25%とする。						
	履修要件 特になし						
関連科目 計画学基礎（4年）→ 地域整備学（5年）							
教材 配布プリント、スライド 教科書：新谷洋二ほか(2014)：都市計画(四訂版), コロナ社, ISBN:978-4-339-05552-8							
備考 単位追認試験および再試験を行う科目である。 配布するプリントや資料は各自で保管・整理すること。原則的に紛失しても再配布は行わない。							